

## 採用の流れ

消防士は、市町村の地方公務員です。採用されるには、市町村の実施する消防吏員の採用試験（筆記・体力・面接など）に合格する必要があります。受験できる年齢や試験の内容は、市町村ごとに異なります。

- STEP 01 **採用試験** 受験資格や申込受付期間などについては、各消防本部にお問い合わせください。
- STEP 02 **採用** 合格すると消防士の仲間入り！
- STEP 03 **消防学校入校** 6ヶ月程度の「初任教育」で消防業務の基礎を修得！
- STEP 04 **消防署配置** 消防署に配置後、実務を経験しながら一人前の消防士へ！

## Q&A

よくある質問に先輩が答えます！

- 勤務時間について教えてください**

市町村の平均給与と同じ「毎日勤務」と24時間勤務（9ヵ月約8割は初任や試験の期間）の「交番勤務制」に大別されます。勤務時間は、いずれも地方公務員並等に短時間勤務の長が認められており、**週4勤務に8日間の休職**があります。
- 転職はありますか？**

「消防士」は全国共通の職種であり、**地方公務員に分類**されます。人事異動により、消防署が変わったり、別の消防種へ異動が出来ることはありますが、**職種については異動は基本的にありません。**
- 「消防」は女性も活躍できる仕事ですか？**

現在、全国で約5,000名を超える女性消防士が活躍するほどの**様々な職種で活躍**しています。**福利厚生制度が充実**しており、多様な働き方をサポートする環境を整えています。また、**子育てと仕事を両立**している方もいます。

詳しくはコチラでもご紹介しています。ぜひご覧ください！

女性消防吏員の活躍促進のためのポータルサイト



総務省消防庁「女性活躍」Facebookページ



総務省消防庁 Fire and Disaster Management Agency



## 女性消防士への一歩をここから

総務省消防庁 Fire and Disaster Management Agency



# “自分らしさ”が消防の世界に生きる

生まれ育った街や、大切な人を守るために。今日も数多くの女性消防士が、日本各地のあらゆる現場で活躍しています。

消防、救助、救急、通信指令、火災予防、総務など消防の世界は想像以上に幅広く、

“自分らしさ”を発揮できる仕事に、きっと巡り合えるでしょう。性別や年齢に関わらず、安心して働き続けられる環境が整っています。

らしさを、チカラに、命を守る。さあ、それぞれの想いを胸に、一歩を踏み出しましょう。



### ライフイベントをサポート

- 育児短時間勤務制度
- 産前産後休暇
- 部分休業
- 育児休業

### “自分らしさ”を発揮

「消防」には、消防隊、救急隊、通信指令など多様な職種があり、「守る」の形は様々です。「自分らしさ」を発揮できる場所があります。

出産  
子育て

多様な  
職種

## 自分のペースで挑戦を続けていくために

性別や年齢に関わらず、安心して働き続けられる環境が整っています。

働きやすい  
職場環境

ライフ・ワーク  
バランスの  
推進

### 女性専用施設の整備

「消防」は女性も活躍できる場所です。女性が安心して使用できる仮更衣室・トイレ・浴室等の整備を進めています。

### 仕事もプライベートも充実

消防職員は「地方公務員」です。原則4週間に8日間の休みがあり、また1年間に20日の年次有給休暇が付与されます。加えて、産前休暇・夏期休暇・長期勤務休暇等の各種休暇制度があります。

